

世界自然遺産登録地に求められること

～登録地の現状と関連法や条例案について～

国内外を問わず世界自然遺産に登録されたところでは、様々な問題が発生し、それを解決することで現在に至っています。西表島が登録された場合も同様な問題が発生することが懸念されていますが、そのような世界自然遺産登録地に求められることを、海外の登録地の現状や関連法・条例案を事例に考えて行きたいと思います。

1. 「ガラパゴスの世界自然遺産に関して」
大島佐喜子
(竹富町観光協会副会長・西表島エコツーリズム協会副会長)
2. 「エコツーリズム推進法について」
杉本正太 (西表自然保護官事務所自然保護官)
3. 「竹富町観光案内人条例(仮称)について」
通事太一郎 (竹富町役場政策推進課長)

- 日時：2018年4月15日(日)
19:00～21:00
- 場所：中野わいわいホール
(入場無料)